

国官技第 283 号
平成 30 年 3 月 20 日

各地方整備局長 殿
北海道開発局長 殿
国土技術政策総合研究所長 殿

国土交通省
大臣官房技術審議官
(公印省略)

「施工パッケージ型積算基準」の改定について

「施工パッケージ型積算方式の試行について」(平成 24 年 3 月 30 日付け国官技第 360 号)の試行実施要領 第 3 本方式における留意点 1. 積算の「施工パッケージ型積算基準」を別紙のとおり改定し、施行することとしたので通知する。

附則

本通知は、平成 30 年 4 月 1 日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用する。

国官技第 283 号の 2
平成 30 年 3 月 20 日

内閣府
沖縄総合事務局長 殿

国土交通省
大臣官房技術審議官
(公印省略)

「施工パッケージ型積算基準」の改定について

標記について、別添のとおり各地方整備局長等あて通知したので、貴局におかれましても準拠されたい。

(別紙)

施工パッケージ型積算基準

(平成 30 年 4 月 1 日以降に

入札書提出期限日を設定している工事から適用)

目次

施工パッケージ型積算基準

1章 土工 …… 1・①・1

- ① 土量変化率 …… 1・①・1
 - 1. 土量の変化 …… 1・①・1
 - 2. 土量変化率 …… 1・①・1
 - 3. 適用土質及び機械損料補正 …… 1・①・2
 - 4. 土量区分の対応 …… 1・①・2
 - 5. 岩質の判定基準 …… 1・①・4
- ② 土工 …… 1・②・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・②・1
 - 2. 施工概要 …… 1・②・3
 - 3. 施工パッケージ …… 1・②・7
- ③ 土工（ICT） …… 1・③・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・③・1
 - 2. 施工概要 …… 1・③・1
 - 3. 施工パッケージ …… 1・③・2
- ④ 床掘工 …… 1・④・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・④・1
 - 2. 施工概要 …… 1・④・2
 - 3. 施工パッケージ …… 1・④・4
- ⑤ 埋戻工 …… 1・⑤・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・⑤・1
 - 2. 施工概要 …… 1・⑤・1
 - 3. 施工パッケージ …… 1・⑤・1
- ⑥ 人力運搬工 …… 1・⑥・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・⑥・1
 - 2. 施工パッケージ …… 1・⑥・2
- ⑦ 安定処理工 …… 1・⑦・1
 - 1. 適用範囲 …… 1・⑦・1
 - 2. 施工概要 …… 1・⑦・1
 - 3. 施工パッケージ …… 1・⑦・2

2章 共通工 …… 2・①・1

- ① 法面整形工 …… 2・①・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・①・1
 - 2. 施工概要 …… 2・①・1
 - 3. 施工フロー …… 2・①・2
 - 4. 施工パッケージ …… 2・①・4
- ② 法面整形工（ICT） …… 2・②・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・②・1
 - 2. 施工概要 …… 2・②・1
 - 3. 施工フロー …… 2・②・1
 - 4. 施工パッケージ …… 2・②・2

- ③ 芝付工 …… 2・③・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・③・1
 - 2. 施工概要 …… 2・③・1
 - 3. 施工パッケージ …… 2・③・2
- ④ 吹付法面とりこわし工 …… 2・④・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・④・1
 - 2. 施工概要 …… 2・④・1
 - 3. 工法の選定 …… 2・④・2
 - 4. 施工パッケージ …… 2・④・2
- ⑤ プレキャストコンクリート板設置工 …… 2・⑤・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑤・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑤・1
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑤・2
- ⑥ 人工張芝工 …… 2・⑥・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑥・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑥・1
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑥・1
- ⑦ 基礎・裏込砕石工，基礎・裏込栗石工 …… 2・⑦・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑦・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑦・2
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑦・3
- ⑧ コンクリートブロック積（張）工 …… 2・⑧・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑧・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑧・2
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑧・4
 - 4. 参考図 …… 2・⑧・22
- ⑨ 石積（張）工 …… 2・⑨・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑨・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑨・3
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑨・4
- ⑩ 平石張工 …… 2・⑩・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑩・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑩・1
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑩・3
- ⑪ 場所打擁壁工（1） …… 2・⑪・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑪・1
 - 2. 施工概要 …… 2・⑪・2
 - 3. 施工パッケージ …… 2・⑪・5
- ⑫ 場所打擁壁工（2） …… 2・⑫・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑫・1
 - 2. 施工パッケージ …… 2・⑫・2
- ⑬ プレキャスト擁壁工 …… 2・⑬・1
 - 1. 適用範囲 …… 2・⑬・1

2. 施工概要	2・13・1	2. 施工パッケージ	2・13・2
⑭ 補強土壁工 (帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁)	2・14・1	⑮ 目地・止水板設置工	2・25・1
1. 適用範囲	2・14・1	1. 適用範囲	2・25・1
2. 施工概要	2・14・2	2. 施工概要	2・25・1
3. 施工パッケージ	2・14・3	3. 施工パッケージ	2・25・2
⑮ ジオテキスタイル工	2・15・1	4. 参考(塩ビ止水板)	2・25・4
1. 適用範囲	2・15・1	⑯ 旧橋撤去工	2・26・1
2. 施工概要	2・15・1	1. 適用範囲	2・26・1
3. 施工パッケージ	2・15・2	2. 施工概要	2・26・3
4. 参考資料	2・15・6	3. 施工パッケージ	2・26・5
⑯ 排水構造物工	2・16・1	⑰ かご工	2・27・1
1. 適用範囲	2・16・1	1. 適用範囲	2・27・1
2. 施工概要	2・16・3	2. 施工概要	2・27・1
3. 施工パッケージ	2・16・5	3. 施工パッケージ	2・27・3
⑰ 排水構造物工(現場打ち水路(本体))	2・17・1	4. かご工(じゃかご, ふとんかご) 参考図	2・27・5
1. 適用範囲	2・17・1	⑱ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	2・28・1
2. 施工概要	2・17・1	1. 適用範囲	2・28・1
3. 施工パッケージ	2・17・2	2. 施工概要	2・28・2
⑱ 排水構造物工 (現場打ち集水樹・街渠樹(本体))	2・18・1	3. 施工パッケージ	2・28・4
1. 適用範囲	2・18・1	4. 参考図	2・28・11
2. 施工概要	2・18・1	⑳ 現場取卸費	2・29・1
3. 施工パッケージ	2・18・2	1. 適用範囲	2・29・1
⑲ サンドマット工	2・19・1	2. 施工パッケージ	2・29・2
1. 適用範囲	2・19・1	㉑ 函渠工(1)	2・30・1
2. 施工パッケージ	2・19・1	1. 適用範囲	2・30・1
⑳ 粉体噴射攪拌工(DJM工法)	2・20・1	2. 施工概要	2・30・1
1. 適用範囲	2・20・1	3. 施工パッケージ	2・30・2
2. 施工概要	2・20・1	㉒ 函渠工(2)	2・31・1
3. 施工パッケージ	2・20・2	1. 適用範囲	2・31・1
㉑ アンカー工 (ロータリーパーカッション式)	2・21・1	2. 施工パッケージ	2・31・2
1. 適用範囲	2・21・1	㉓ 殻運搬	2・32・1
2. 施工概要	2・21・1	1. 適用範囲	2・32・1
3. 施工パッケージ	2・21・1	2. 施工パッケージ	2・32・1
㉒ 構造物とりこわし工	2・22・1	③ 章 コンクリート工	3・1・1
1. 適用範囲	2・22・1	① コンクリート工	3・1・1
2. 施工概要	2・22・1	1. 適用範囲	3・1・1
3. 施工パッケージ	2・22・2	2. コンクリート打設工法の選定	3・1・2
㉓ コンクリート削孔工	2・23・1	3. 施工パッケージ	3・1・4
1. 適用範囲	2・23・1	4. 施工歩掛	3・1・9
2. 施工パッケージ	2・23・2	5. 単価表	3・1・11
㉔ 吸出し防止材設置工	2・24・1	② 型枠工	3・2・1
1. 適用範囲	2・24・1	1. 適用範囲	3・2・1
		2. 施工概要	3・2・1
		3. 施工パッケージ	3・2・2
		③ 型枠工(省力化構造)	3・3・1

- 1. 適用範囲 …………… 3・③・1
- 2. 施工概要 …………… 3・③・1
- 3. 施工パッケージ …………… 3・③・2

4章 河川海岸 …………… 4・①・1

- ① 消波根固めブロック工 …………… 4・①・1
 - 1. 適用範囲 …………… 4・①・1
 - 2. 施工概要 …………… 4・①・2
 - 3. 施工パッケージ …………… 4・①・3
- ② 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）
（0.25 t 以上35.5 t 以下） …………… 4・②・1
 - 1. 適用範囲 …………… 4・②・1
 - 2. 施工概要 …………… 4・②・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 4・②・2
- ③ 捨石工 …………… 4・③・1
 - 1. 適用範囲 …………… 4・③・1
 - 2. 施工概要 …………… 4・③・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 4・③・2

5章 河川維持 …………… 5・①・1

- ① 堤防除草工 …………… 5・①・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・①・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・①・1
 - 3. 工法の選定 …………… 5・①・2
 - 4. 施工パッケージ …………… 5・①・3
- ② 堤防天端補修工 …………… 5・②・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・②・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・②・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・②・2
- ③ 堤防芝養生工 …………… 5・③・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・③・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・③・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・③・2
- ④ 伐木除根工 …………… 5・④・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・④・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・④・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・④・2
- ⑤ 塵芥処理工 …………… 5・⑤・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑤・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑤・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑤・2
- ⑥ ボーリンググラウト工 …………… 5・⑥・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑥・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑥・2
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑥・3
- ⑦ 機械土工（河床等掘削） …………… 5・⑦・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑦・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑦・1

- 3. 施工パッケージ …………… 5・⑦・1
- ⑧ 巨石積（張）工 …………… 5・⑧・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑧・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑧・2
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑧・3
 - 4. 基本数量の算出基準 …………… 5・⑧・8
- ⑨ 木杭打工 …………… 5・⑨・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑨・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑨・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑨・1
- ⑩ 護岸基礎ブロック工 …………… 5・⑩・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑩・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑩・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑩・2
- ⑪ かごマット工（スロープ型） …………… 5・⑪・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑪・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑪・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑪・2
- ⑫ 野芝種子吹付工 …………… 5・⑫・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑫・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑫・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑫・2
- ⑬ 袋詰玉石工 …………… 5・⑬・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑬・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑬・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑬・1
- ⑭ 笠コンクリートブロック据付工 …………… 5・⑭・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑭・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑭・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑭・1
- ⑮ グラウトホール工 …………… 5・⑮・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑮・1
 - 2. 施工パッケージ …………… 5・⑮・1
- ⑯ 光ケーブル配管工 …………… 5・⑯・1
 - 1. 適用範囲 …………… 5・⑯・1
 - 2. 施工概要 …………… 5・⑯・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 5・⑯・1

6章 砂防 …………… 6・①・1

- ① 土工 …………… 6・①・1
 - 1. 適用範囲 …………… 6・①・1
 - 2. 施工概要 …………… 6・①・2
 - 3. 施工パッケージ …………… 6・①・5
- ② 砂防ソイルセメント工 …………… 6・②・1
 - 1. 適用範囲 …………… 6・②・1
 - 2. 施工概要 …………… 6・②・1
 - 3. 施工パッケージ …………… 6・②・2

7章 地すべり防止工 7・①・1

- ① 地すべり防止工 (集排水ボーリング工) 7・①・1
 - 1. 適用範囲 7・①・1
 - 2. 施工概要 7・①・1
 - 3. 施工パッケージ 7・①・2

8章 道路舗装 8・①・1

- ① 路盤工 8・①・1
 - 1. 適用範囲 8・①・1
 - 2. 施工概要 8・①・1
 - 3. 施工パッケージ 8・①・2
- ② 路盤工 (ICT) 8・②・1
 - 1. 適用範囲 8・②・1
 - 2. 施工概要 8・②・1
 - 3. 施工パッケージ 8・②・2
- ③ アスファルト舗装工 8・③・1
 - 1. 適用範囲 8・③・1
 - 2. 施工概要 8・③・1
 - 3. 施工パッケージ 8・③・2
- ④ 半たわみ性 (コンポジット) 舗装工 8・④・1
 - 1. 適用範囲 8・④・1
 - 2. 施工概要 8・④・1
 - 3. 施工パッケージ 8・④・2
- ⑤ 排水性アスファルト舗装工 8・⑤・1
 - 1. 適用範囲 8・⑤・1
 - 2. 施工概要 8・⑤・1
 - 3. 施工パッケージ 8・⑤・2
- ⑥ 透水性アスファルト舗装工 8・⑥・1
 - 1. 適用範囲 8・⑥・1
 - 2. 施工概要 8・⑥・1
 - 3. 施工パッケージ 8・⑥・1
- ⑦ 踏掛版 8・⑦・1
 - 1. 適用 8・⑦・1
 - 2. 施工概要 8・⑦・1
 - 3. 施工パッケージ 8・⑦・2

9章 道路付属施設 9・①・1

- ① 立入り防止柵工 9・①・1
 - 1. 適用範囲 9・①・1
 - 2. 施工パッケージ 9・①・1
- ② 車止めポスト設置工 9・②・1
 - 1. 適用範囲 9・②・1
 - 2. 施工パッケージ 9・②・1
- ③ 防雪柵設置及び撤去工 9・③・1
 - 1. 適用範囲 9・③・1
 - 2. 施工概要 9・③・1
 - 3. 施工パッケージ 9・③・2

- 4. 防雪柵の概念図 (参考) 9・③・4
- ④ 防雪柵現地張出し・収納工 9・④・1
 - 1. 適用範囲 9・④・1
 - 2. 施工概要 9・④・1
 - 3. 施工パッケージ 9・④・2
 - 4. 参考図 (現地収納式防雪柵 (吹払式) の概念図) 9・④・3
- ⑤ 雪崩予防柵設置工 9・⑤・1
 - 1. 適用範囲 9・⑤・1
 - 2. 施工概要 9・⑤・2
 - 3. 施工パッケージ 9・⑤・3
- ⑥ ボックスビーム設置工 9・⑥・1
 - 1. 適用範囲 9・⑥・1
 - 2. 施工概要 9・⑥・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑥・2
- ⑦ 落下物等防止柵設置工 9・⑦・1
 - 1. 適用範囲 9・⑦・1
 - 2. 施工概要 9・⑦・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑦・1
- ⑧ しゃ音壁設置工 9・⑧・1
 - 1. 適用範囲 9・⑧・1
 - 2. 施工概要 9・⑧・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑧・2
 - 4. 支柱取付型式区分 (付図) 9・⑧・10
 - 5. 参考資料 9・⑧・11
- ⑨ 路側工 (据付け) 9・⑨・1
 - 1. 適用範囲 9・⑨・1
 - 2. 施工概要 9・⑨・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑨・2
- ⑩ 路側工 (取外し) 9・⑩・1
 - 1. 適用範囲 9・⑩・1
 - 2. 施工概要 9・⑩・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑩・1
- ⑪ 特殊ブロック設置工 9・⑪・1
 - 1. 適用範囲 9・⑪・1
 - 2. 施工概要 9・⑪・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑪・1
- ⑫ 組立歩道工 9・⑫・1
 - 1. 適用範囲 9・⑫・1
 - 2. 施工概要 9・⑫・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑫・3
- ⑬ 橋梁付属施設設置工 9・⑬・1
 - 1. 適用範囲 9・⑬・1
 - 2. 施工パッケージ 9・⑬・1
- ⑭ トンネル内装板設置工 9・⑭・1
 - 1. 適用範囲 9・⑭・1
 - 2. 施工概要 9・⑭・1
 - 3. 施工パッケージ 9・⑭・2

⑮	道路付属物設置工	9・⑮・1			
	1. 適用範囲	9・⑮・1			
	2. 施工パッケージ	9・⑮・1			
	3. 道路付属物の参考図	9・⑮・2			
⑯	スノーポール設置・撤去工	9・⑯・1			
	1. 適用範囲	9・⑯・1			
	2. 施工概要	9・⑯・2			
	3. 施工パッケージ	9・⑯・3			
10章 道路維持修繕					
①	路面切削工	10・①・1			
	1. 適用範囲	10・①・1			
	2. 施工概要	10・①・1			
	3. 施工パッケージ	10・①・2			
②	舗装版破碎工	10・②・1			
	1. 適用範囲	10・②・1			
	2. 施工概要	10・②・1			
	3. 施工パッケージ	10・②・2			
③	舗装版切断工	10・③・1			
	1. 適用範囲	10・③・1			
	2. 施工概要	10・③・1			
	3. 施工パッケージ	10・③・1			
④	舗装版クラック補修工	10・④・1			
	1. 適用範囲	10・④・1			
	2. 施工概要	10・④・1			
	3. 施工パッケージ	10・④・2			
⑤	道路付属構造物塗替工	10・⑤・1			
	1. 適用範囲	10・⑤・1			
	2. 施工概要	10・⑤・2			
	3. 施工パッケージ	10・⑤・2			
⑥	張紙防止塗装工	10・⑥・1			
	1. 適用範囲	10・⑥・1			
	2. 施工概要	10・⑥・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑥・2			
⑦	橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）	10・⑦・1			
	1. 適用範囲	10・⑦・1			
	2. 施工概要	10・⑦・2			
	3. 施工パッケージ	10・⑦・3			
	4. 参考図（支柱概念図）	10・⑦・11			
⑧	橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）	10・⑧・1			
	1. 適用範囲	10・⑧・1			
	2. 施工概要	10・⑧・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑧・2			
⑨	橋梁補強工 （コンクリート巻立て）（1）	10・⑨・1			
	1. 適用範囲	10・⑨・1			
	2. 施工概要	10・⑨・2			
	3. 施工パッケージ	10・⑨・3			
	4. 参考図（支柱概念図）	10・⑨・7			
⑩	橋梁補強工 （コンクリート巻立て）（2）	10・⑩・1			
	1. 適用範囲	10・⑩・1			
	2. 施工概要	10・⑩・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑩・1			
⑪	橋梁地覆補修工	10・⑪・1			
	1. 適用範囲	10・⑪・1			
	2. 施工概要	10・⑪・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑪・2			
⑫	橋梁補修工（支取代替工）	10・⑫・1			
	1. 適用範囲	10・⑫・1			
	2. 施工概要	10・⑫・2			
	3. 施工パッケージ	10・⑫・3			
⑬	橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）	10・⑬・1			
	1. 適用範囲	10・⑬・1			
	2. 施工概要	10・⑬・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑬・2			
⑭	落橋防止装置工	10・⑭・1			
	1. 適用範囲	10・⑭・1			
	2. 施工概要	10・⑭・1			
	3. コンクリート削孔工法の選定	10・⑭・2			
	4. 施工パッケージ	10・⑭・3			
⑮	道路除草工	10・⑮・1			
	1. 適用範囲	10・⑮・1			
	2. 施工概要	10・⑮・1			
	3. 工法の選定	10・⑮・2			
	4. 施工パッケージ	10・⑮・3			
⑯	路面清掃工（人力清掃工）	10・⑯・1			
	1. 適用範囲	10・⑯・1			
	2. 施工パッケージ	10・⑯・2			
⑰	側溝清掃工（人力清掃工）	10・⑰・1			
	1. 適用範囲	10・⑰・1			
	2. 施工パッケージ	10・⑰・1			
⑱	集水樹清掃工（人力清掃工）	10・⑱・1			
	1. 適用範囲	10・⑱・1			
	2. 施工概要	10・⑱・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑱・1			
⑲	トンネル漏水対策工	10・⑲・1			
	1. 適用範囲	10・⑲・1			
	2. 施工概要	10・⑲・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑲・2			
⑳	沓座拡幅工	10・⑳・1			
	1. 適用範囲	10・⑳・1			
	2. 施工概要	10・⑳・1			
	3. 施工パッケージ	10・⑳・2			
㉑	桁連結工	10・㉑・1			

1. 適用範囲	10	㉑	1
2. 施工概要	10	㉑	1
3. 施工パッケージ	10	㉑	2
㉒ 路肩整正（人力による土はね）	10	㉒	1
1. 適用範囲	10	㉒	1
2. 施工概要	10	㉒	1
3. 施工パッケージ	10	㉒	2
㉓ 防護柵復旧工	10	㉓	1
1. 適用範囲	10	㉓	1
2. 施工パッケージ	10	㉓	1

11章 共同溝工 11・①・1

① 電線共同溝工（C・C・BOX）	11	①	1
1. 適用範囲	11	①	1
2. 施工概要	11	①	2
3. 施工パッケージ	11	①	3
② 情報ボックス工	11	②	1
1. 適用範囲	11	②	1
2. 施工概要	11	②	2
3. 施工パッケージ	11	②	3

12章 橋梁工 12・①・1

① 鋼橋床版工	12	①	1
1. 適用範囲	12	①	1
2. 施工パッケージ	12	①	1
② 橋梁排水管設置工	12	②	1
1. 適用範囲	12	②	1
2. 施工概要	12	②	1
3. 施工パッケージ	12	②	1

13章 その他 13・①・1

① 現場発生品及び支給品運搬	13	①	1
1. 適用範囲	13	①	1
2. 施工パッケージ	13	①	1

1章. 土 工

① 土量変化率

1. 土量の変化

土量の変化は次の3つの状態の土量に区分して考える。

地山の土量……………掘削すべき土量

ほぐした土量……………運搬すべき土量

締固め後の土量……………出来上りの盛土量

三つの状態の体積比を次式のように表わし、L及びCを土量の変化率という。

$$L = \frac{\text{ほぐした土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}}$$

$$C = \frac{\text{締固め後の土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}}$$

土量の配分計画を立てる場合には、この土量変化率を用いて、切土、盛土の土量計算を行う。

2. 土量変化率

統一分類法により分類した土の各土質に応じた変化率は、表 2.1 を標準とする。なお、細分し難いときは、表 2.2 を使用してよい。

表2.1 土量の変化率

分 類 名 称			変化率L	変化率C
主 要 区 分	記 号			
レキ質土	レキ	(GW) (GP) (GPs) (G-M) (G-C)	1.20	0.95
	レキ質土	(GM) (GC) (GO)	1.20	0.90
砂及び 砂質土	砂	(SW) (SP) (SPu) (S-M) (S-C) (S-V)	1.20	0.95
	砂質土 (普通土)	(SM) (SC) (SV)	1.20	0.90
粘性土	粘性土	(ML) (CL) (OL)	1.30	0.90
	高含水比 粘性土	(MH) (CH)	1.25	0.90
岩塊・玉石			1.20	1.00
軟岩 I			1.30	1.15
軟岩 II			1.50	1.20
中硬岩			1.60	1.25
硬岩 I			1.65	1.40

(注) 本表は体積(土量)より求めたL, Cである。

表2.2 土量の変化率

分類名称	変化率L	変化率C	1/C	L/C
主要区分				
レキ質土	1.20	0.90	1.11	1.33
砂及び砂質土	1.20	0.90	1.11	1.33
粘性土	1.25	0.90	1.11	1.39

- (注) 1. 本表は体積(土量)より求めたL, Cである。
 2. 1/Cは「締固め後の土量」を「地山の土量」に換算する場合に使用する。
 3. L/Cは「締固め後の土量」を「ほぐした土量」に換算する場合に使用する。

3. 適用土質及び機械損料補正

表3.1 適用土質及び機械損料補正

分類名称	掘削積込		ダンプトラック運搬		敷均し・締固め
	適用土質	損料補正	適用土質	損料補正	損料補正
レキ質土	レキ質土	1.00	土砂	1.00	1.00
砂・砂質土	砂・砂質土	1.00	〃	1.00	1.00
粘性土	粘性土	1.00	〃	1.00	1.00
岩塊・玉石	岩塊・玉石	1.00	〃	1.00	1.00
軟岩(Ⅰ)	レキ質土	1.00	軟岩	1.00	1.00
軟岩(Ⅱ)	〃	1.00	〃	1.00	1.00
中硬岩	破碎岩	1.25	硬岩	1.25	1.25
硬岩(Ⅰ)	〃	1.25	〃	1.25	1.25

- (注) 1. 軟岩Ⅰ, 軟岩Ⅱ, 中硬岩, 硬岩Ⅰの掘削積込は、「ルーズな状態」に適用する。
 2. 各土質の分類名称の定義は、土木工事共通仕様書による。
 3. 機械損料補正は歩掛のみに適用する。なお、施工パッケージについては、パッケージ単価に岩石作業における機械損料の影響を含んでいる。

4. 土質区分の対応

土木工事共通仕様書における土質分類と積算条件の土質区分の関係は、以下のとおりである。

表4.1 適用土質(1)

施工パッケージ 区分 分類名称	掘削	床掘り・ 埋戻し	掘削 (砂防)	積込(ルーズ)	人力積込	積込(ルーズ) (砂防)	押土(ルーズ)	押土(ルーズ) (砂防)
レキ質土	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
砂・砂質土								
粘性土								
岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石
軟岩Ⅰ	軟岩	—	軟岩	土砂	軟岩	土砂	土砂	土砂
軟岩Ⅱ								
中硬岩	硬岩	—	硬岩	破碎岩	中硬岩	破碎岩	破碎岩	破碎岩
硬岩					硬岩			
転石	—	—	転石	—	—	—	—	—

表4.2 適用土質(2)

施工パッケージ 区分 分類名称	法面整形	土砂等運搬	土砂等運搬 (砂防)	人肩運搬 小車運搬 ベルトコンベヤ (ポータブル) 併用人力掘削 ベルトコンベヤ (ポータブル) 併用人力積込
レキ質土	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	土砂	土砂	土砂
砂・砂質土				
粘性土				
岩塊・玉石	—			岩塊・玉石
軟岩Ⅰ	軟岩Ⅰ	軟岩	軟岩	—
軟岩Ⅱ				
中硬岩	軟岩Ⅱ, 中硬岩, 硬岩	硬岩	硬岩	—
硬岩Ⅰ				
転石	—	—	—	—

5. 岩質の判定基準

表5.1 岩質の判定基準

国土交通省岩分類	岩種グループ別	変成岩及び堆積岩										堆積岩				火成岩													
		主として古生代										中生代		第三紀		深成岩				火山岩									
		片麻岩	砂質片岩	黒色片岩	緑色片岩	千枚岩	珪岩・角閃岩	石灰岩	砂岩	粘板岩	輝緑凝灰岩	粘板岩	頁岩	砂岩	れき岩	頁岩	砂岩	凝灰岩	凝灰角礫岩	花こう岩	セシ緑岩	ハンレイ岩	カンラン岩	蛇紋岩	流紋岩	ヒン岩	安山岩	玄武岩	集塊岩
軟岩Ⅰ	A	●			●		●	●		●	●		●	●		▲	▲	●	●					●	●		●	●	
	B		△		●			▲		▲	▲			○		▲	▲		●				▲	●				▲	
軟岩Ⅱ	A	▲	●		●		●	▲		▲	▲		▲	▲		○	○		▲	▲	●	●	△	▲	●	▲	▲	▲	
	B		▲	○	▲		▲	▲		▲	▲		▲	▲	○	○	○		▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	○	
中硬岩	A	△	▲		△		○	△		△	○		○	○				△	△	△	△	○	△	△	△	△	△		
	B		▲	◎		△		△		△	◎		◎	◎				△	△	△	△	◎	△	△	△	△	△		
硬岩Ⅰ	A	○	△		○		○						○					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		
	B	◎	○		◎		◎						◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		
硬岩Ⅱ	A		◎				◎																						

- 全体に変化が進み変色しているもの。
- △ 割れ目に沿って風化変色が少なく、岩片内部は新鮮なもの。
- ▲ 割れ目に沿って幅広く風化しているが球状、レンズ状に未風化部を残すもの。
- 割れ目が少なく風化変色がほとんどなく新鮮で硬いもの。
- ◎ 岩石が特に硬く全く新鮮なもの。
- * Aグループは、花崗岩・安山岩・砂岩・珪岩のように、造岩物質、固結度共に硬く、風化が進み、亀裂が入って、弾性波速度が遅くても、岩片耐圧強度の高い岩種類。
- * Bグループは、頁岩・粘板岩・黒色片岩のように、造岩物質が軟らかく、風化が進むと泥化し新鮮なもので弾性波速度が早くても、岩片耐圧強度の低い岩種類。

② 土工

1. 適用範囲

本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。

1-1 適用出来る範囲

1-1-1 掘削

- (1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削
- (2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合
- (3) 陸上掘削でクラムシェルによる水中掘削積込を行う場合
- (4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合
- (5) 岩石の床掘りの場合

1-1-2 土砂等運搬

- (1) 自工区内の土砂等の運搬
- (2) 土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬
- (3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬
- (4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬

1-1-3 整地

- (1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地

1-1-4 路体(築堤)盛土

- (1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体（築堤）盛土
- (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土
- (3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土
- (4) 購入土を使用した路体（築堤）盛土

1-1-5 路床盛土

- (1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土
- (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
- (3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
- (4) 購入土を使用した路床盛土

1-1-6 押土(ルーズ)

- (1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合
- (2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合

1-1-7 積込(ルーズ)

- (1) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み
- (2) 仮置きされた土砂等の積込み
- (3) 破砕片除去の場合

1-1-8 人力積込

- (1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み

1-1-9 転石破砕

- (1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕

1-1-10 土材料

- (1) 道路土工、河川土工等における土材料（現場渡し単価又は土場渡し単価）を購入する場合

1-1-11 残土等処分

- (1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分
- (2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分

1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）

1-2-1 掘削

- (1) 海上・水上作業におけるクラムシェル水中掘削積込
- (2) クラムシェルによる床掘り（作業土工）
- (3) 深礎工，鋼管矢板基礎工，共同溝工，地すべり防止工におけるクラムシェル掘削積込
- (4) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削（土の状態を問わない）を行う場合
- (5) 掘削（砂防）
- (6) 情報ボックス工の設置工事の掘削
- (7) 掘削（トンネル工）
- (8) 電線共同溝工事における掘削
- (9) 砂防，ダム，トンネルの本体工事の岩掘削及び水中掘削
- (10) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂，岩塊・玉石の掘削積込
- (11) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂の片切掘削

1-2-2 土砂等運搬

- (1) 土砂等運搬（砂防）
- (2) 河床等沈殿物，底沼等軟弱土を除去した後の運搬作業
- (3) 機械運搬が使用出来ない箇所での人力運搬

1-2-3 整地

- (1) 締固めを含む場合

1-2-4 路体（築堤）盛土

- (1) 路床盛土工
- (2) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路体（築堤）盛土

1-2-5 路床盛土

- (1) 凍上抑制層を有する場合
- (2) 路体盛土工
- (3) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路床盛土

1-2-6 押土（ルーズ）

- (1) 地山の掘削を伴う押土の場合
- (2) 押土（ルーズ）（砂防）

1-2-7 積込（ルーズ）

- (1) 地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合
- (2) 積込（ルーズ）（砂防）
- (3) 人力による積込み

1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）

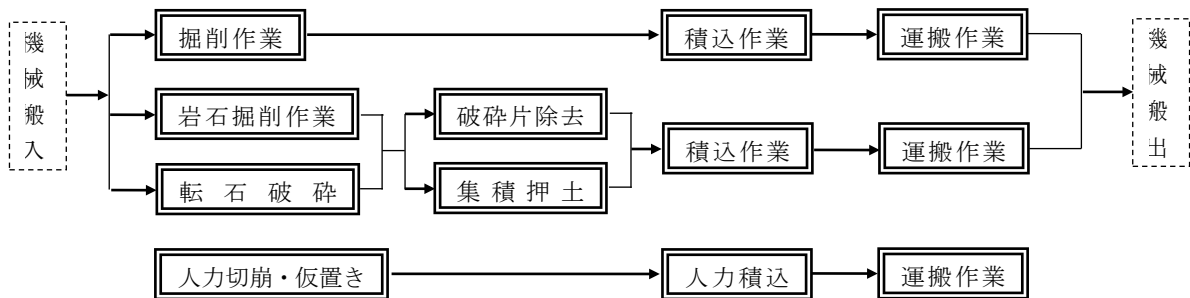
1-3-1 土砂等運搬

- (1) 自動車専用道路を利用する場合
- (2) 運搬距離が60kmを超える場合

2. 施工概要

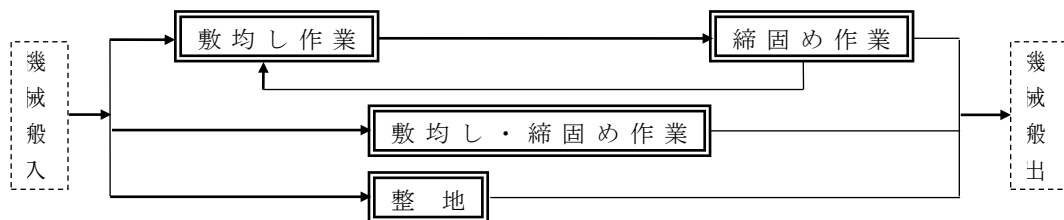
2-1 施工フロー

2-1-1 「掘削」, 「転石破碎」, 「押土 (ルーズ)」, 「積込 (ルーズ)」, 「人力積込」, 「土砂等運搬」



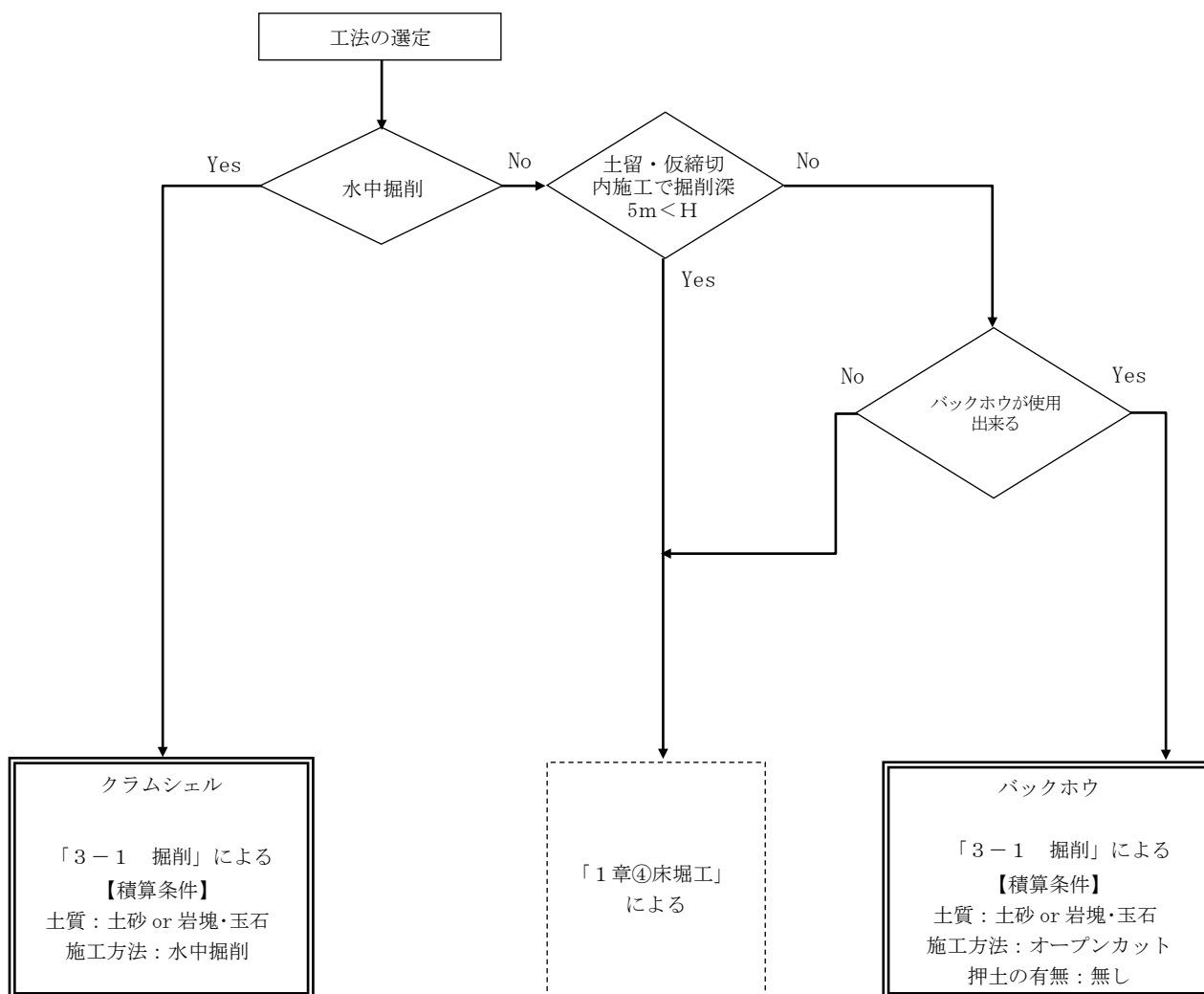
- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 破砕片除去、集積押土は必要な場合計上する（岩石掘削においては条件区分「有」を選択し、転石破碎においては「積込 (ルーズ)」又は「押土 (ルーズ)」を別途計上する)。
 3. 積込み、運搬は必要な場合計上する（積込みについては表「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込 (ルーズ) の計上が必要な掘削の積算条件」による)。
 4. 人力切崩は現場制約有り（機械施工が出来ない箇所の人力施工）に適用する。
 5. 各作業の対象となる施工パッケージは「2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。

2-1-2 「路体(築堤)盛土」, 「路床盛土」, 「整地」



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 残土受入れ地での整地は、土砂、中硬岩、硬岩 I にかかわらず適用出来る。

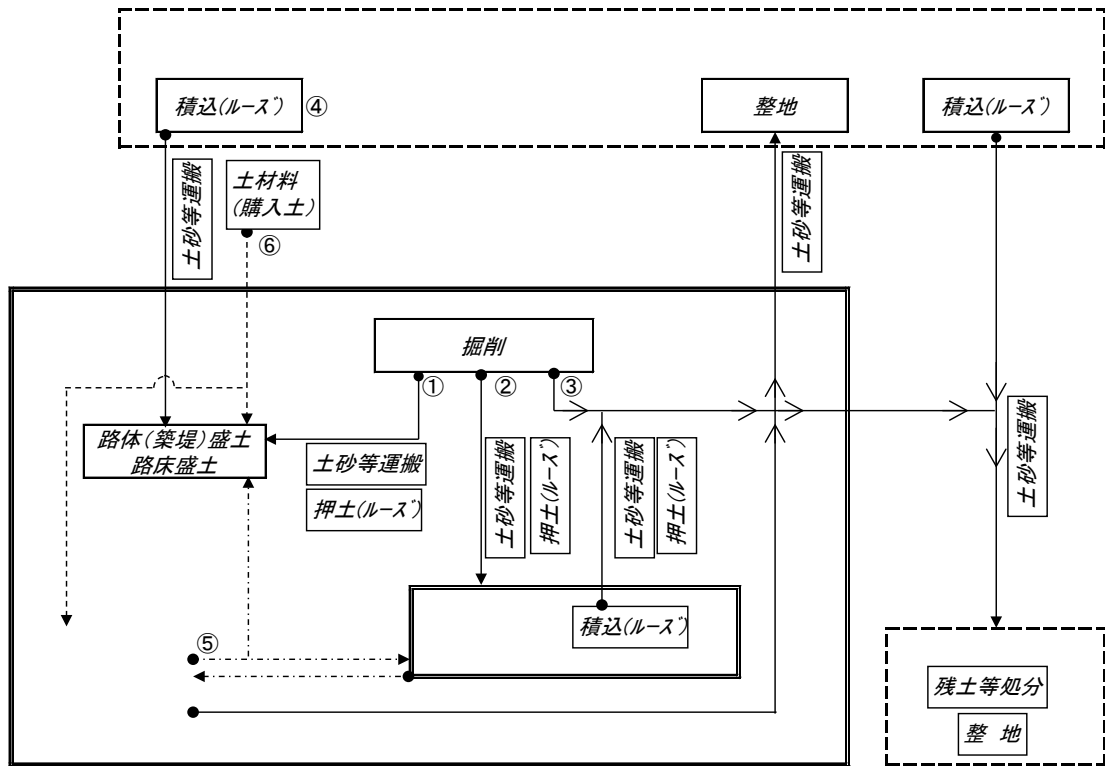
2-1-3 「掘削」におけるクラムシェル工法選定フロー



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ

(1) 道路土工, 河川土工等



掘削
土砂等運搬, 押土(ルース)

土材料

(● →)
(● - - - - ->)

土材料

土砂等運搬

(● ·····>)

掘削

掘削

掘削

{

掘削

積込(ルース)

積込(ルース)

掘削

